# こちバス新聞

平成24年
8月20日

高知大学
コラパ～
発行

夜も更けて、提灯の明かりが灯ると
幻想的な風景が浮かびあがります。

## おかえり～、ようきたねえ！
## 棚田の郷は大忙し。
## 「長者七夕祭り」in仁淀川町

8月12日（日）。旧暦の七夕にあたる日曜日に仁淀川町長者地区で「七夕祭り」が行われました。高知大生17人も準備から出店での販売までをお手伝い。大活躍の一日でした。

朝倉キャンパスからバスで約2時間。ついた先は棚田の上に民家が並ぶ幻想的な山里。長者七夕祭りの会場です。

実は長者地区の七夕祭りは一時途絶えていたのですが「もう一度祭りを見たい」というおばあちゃん達の想いに応え、5年ほど前に高知大生と地元の方が一緒なって祭りを復活させました。

当日は到着後すぐ、笹への飾り付けや棚田を渡る吹き流しの設置、祭り会場や舞台の設営などに地元の方とともに汗を流しました。

参加した学生の多くはこれまでにも何度か長者に足を運んでおり、地元の方とも顔見知り。まさに里帰りのような和気あいあいとした雰囲気の中作業が進みました。

棚田を渡る色とりどりの
花飾りに吹き流しが涼しげ。
会場までの道路に設置する
笹飾りの飾り付けを学生もお手伝い。
祭り気分を盛り上げます。

午後4時、いよいよ七夕祭りの始まりです♪お盆で地元に帰省した懐かしい顔やいつもの仲間の笑顔に皆さん楽しそう。高知大4年生コンビは浴衣で祭りに花を添えます。みんな、持ち場について田楽を焼いたり、かき氷を売ったり大忙し。その合間には地元の美味を堪能。充実感あふれる一日となりました。